第35回 浦添まつり てだこまつり

URAZOE TEDAKO MATSURI

浦添の夏の風物詩「てだこまつり」が7月20日の前夜祭を皮切りに22日までの3日間開催され、期間中は延べ19万人の来場者があり、おおいに盛り上がりをみせました。
21、22日の両日とも最後には花火が打ち上げられ、夏の夜空を彩りました。

◀▼メイン会場では、てだこ演舞まつりが開催され、エイサー、ファイアートーチ、棒術など様々な演舞が繰り広げられ、来場者を楽しませました。

◀▼てだこホールでは、KID'Sや中高生によるダンス、バンドによるライブ、文化協会による舞台芸能など、様々なイベントが開催されました。

会場には多くの方が市内外から訪れ、てだこまつりを満喫しました。

ご寄附・ご寄贈
ありがとうございました。
寄附件数　432件
物品寄贈　3件
総　　額　6,014,618円

◀▼20日に行われた前夜祭では、屋富祖通りが歩行者天国になり、様々なイベントが開催されました。

◀▼てだこレディーが太陽の光を集めておこした火が、伊祖城跡公園からメイン会場まで運ばれまつりの開会を宣言しました。

第12回 てだこハーリー大会

牧港漁港では、てだこハーリー大会が開催され、熾烈なレースが繰り広げられました。結果は、一般男子の部は「JTA ハーリークラブ」、一般女子の部は「上野レディース」、中学生の部では前年度に続き、男女ともに浦西中学校が優勝を飾りました。